

に能く行なふ選挙の漸進なる対立抗争を
包蔵しなかつたからと軍を知つておそれ、本部
よりは一人の本部員も派遣せず軍に電報を南ま
すが如き、的かに選挙意がな、軍を証明してある。
云々

△議長

日 各代議議員諸君の意見に依つて、大体我々の
他意持も決定してあるため、此の空気をのり込ん
全部を新中央委員の中より選挙するに
別委員に依り、最右の決定をする事に致し
「済む」

の快

一 臨時選挙委員会報告

東陽見一

中央執行委員長

坂本孝三

中央執行委員

- 平沢光雄 (鹿児島) 奥平弘三 (神戸)
- 高山久彦 (東京) 今井政志 (大阪)
- 宇野信次郎 (東京) 橋本定光 (大阪)
- 佐野好男 (神戸) 末中勲三郎 (大阪)
- 森 亨 (神戸) 川島 裕三 (神戸)

中央委員

- 奥田春徳、松本角太郎、中浦多力造
- 高橋勇介、吉本惣三、土屋一雄
- 矢沢 博、平沢光雄 (以上署名)